

いつもご注文ありがとうございます。

10月になると、いよいよ季節は秋本番という感じがしてきますね。食欲の秋、芸術の秋、スポーツの秋、イベント好きならハロウィンの秋？と、人によって様々でしょうが、今月は誕生日別にみた、なりやすい病気となりにくい病気について調べてみました。1985年から2013年までの間に、ニューヨークのプレスビテリアン病院とコロンビア大学の医療センターの患者のデータをもとにしたデータ分析からの引用です。誕生日別に見たデータは、季節も大きく関係していますが、ニューヨークの気候と日本の気候は、多少の違いはあれ四季もあり似ていることから、この結果は日本人にも当てはまると考えられています。

いくつかの病気は季節と直接的な関係があり、胎児の健康や病気の発症率は、お母さんの健康状態によって変わります。例えば、喘息の原因の一つであるダニの繁殖期に生まれてくる子供は、喘息になる子が多く、日照時間の最も短い冬にお腹の中にいた赤ちゃんは、母体にビタミンDが欠け、鉄分の血中濃度が下がる確率が最も高いため、栄養が行き渡らず心疾患になる確率が上がるそうです。

さあ、自分の誕生日はどのようなか気になってきましたよね。一体、一番病気になりやすい誕生日はいつなのでしょう？

知りたくないかもしれませんが…パンパカパーン！実は10月生まれのあなたです。Happy Birthday! なんと、相互関係がわかった55の病気のうち、15の病気で最もリスクが高かったのです。「はあ、せっかく今日は誕生日なのに嫌なこと聞いたな…」と思ったあなた、まだ落ち込むのは早いですよ！実は10月生まれは、なりやすい病気も一番多いけど、なりにくい病気も一番多いのです。表をよく見ると、なりやすい病気は風邪や咽喉炎など、直接命に関わる病気ではありません。そして、なりにくい病気は心疾患や動脈硬化などの、深刻な病気です。11月生まれも、なりやすい病気の数は多いのですが、心疾患になる確率は低く、12月生まれも同じだそうです。「あの人よく風邪をひいているけど、なんだかんだ長生きだよな。」なんて人が周りにいたら、秋生まれの人かもしれません。（表：週刊現代から引用）

誕生日別 あなたの病気のリスク

	なりやすい病気	なりにくい病気
1月	高血圧、心筋症	中耳炎、喘息、嘔吐しやすい
2月	肺がん・気管支がん、喉の異物感	急性細気管支炎、視覚不良、胃の機能障害、発熱、喘息増悪(発作)
3月	前立腺がん、心房細動(不整脈)、冠状動脈硬化症、鬱血性心不全、僧帽弁疾患	ADHD(注意欠陥多動性障害)、月経痛、急性扁桃炎
4月	狭心症、急性の心臓病(心臓発作)、慢性心筋虚血症	急性咽喉炎、非感染性の腸炎、近視、遠視、アザが残りやすい
5月	病気のリスクは最も低い	風邪(急性上気道炎)、結膜炎、社会性の未発達
6月	心筋梗塞前症候群、喘息増悪(発作)	性的感染症
7月	病気のリスクは2番めに低い	下痢、非炎症性の膣疾患、妊娠・出産・産褥期の合併症
8月	結膜炎	特になし
9月	急性細気管支炎、喘息、中耳炎、適応障害、嘔吐しやすい	狭心症、心筋症、急性の心臓病
10月	風邪(急性上気道炎)、急性咽喉炎、近視、胃の機能障害、月経痛	心房細動、冠状動脈硬化症、高血圧、前立腺がん、喉の異物感
11月	ADHD、急性扁桃炎、非感染性の腸炎、下痢、非炎症性の膣疾患	肺がん・気管支がん、慢性心筋虚血、僧帽弁疾患
12月	アザが残りやすい	特になし

それでは、総合的に見て一番リスクが高い月はいつなのでしょう？…パンパカパーン！申しわけございません。それは3月生まれのあなたです。あなたが胎児だった頃、外の世界では日照時間が短かったのです。なぜ総合的なリスクが高いかという、なりやすい病気が心疾患だからです。心疾患は風邪と違い重病なことが多いので、総じてリスクは高めと言えます。男性の方は前立腺癌にもなりやすいそうです。4月も、同じ理由で心疾患が多い月です。

それでは最後に、最もリスクの低い誕生日はと言いますと…おめでとございます！5月生まれのあなたです！なりやすい病気は一つもない上に風邪もひきにくいなんて、なんて羨ましいのでしょうか！7月生まれも特に注意したほうが良い病気はなく、総合的に6月の次にリスクが低く、8月もリスクは低めです。

総じて見ると、秋から冬にかけて生まれた人は、なりやすい病気の数が多く、春は心臓系の重病になりやすく、夏生まれは病気になるリスクが低めという結果でした。でも、この結果を見て落ち込まないでください。もう生まれてきてしまったのだから。これはあくまでも、ある地域の一部の人達の統計にしか過ぎないので、秋の夜長のおもしろ話としてとっておいてください。

一喜一憂して楽しんだら、自然のエレルギーをもらいに、銅色や金色、朱色の森を探しにいきませんか？